

園だより6月号



YMCA オリーブ保育園

2018年6月1日 発行

園長 矢野 久美

今月のねがい

***友だちや身近な物に心を動かす *自然の不思議さに目をとめ関心をもつ**

長靴を履いて嬉しそうに傘をさして登園してくる子どもたち。梅雨の時期はそんな朝の光景を微笑ましく感じます。雨の日を楽しめる子どもたちは、雨が自然の恵みであることを本能でわかっているのかもしれませんが。水たまりに思い切り入れるのも子どもだけの特権ですね。

早いもので新年度に入って2ヶ月がたちました。保育室の中からいつの間にか泣き声が消え、笑顔で生き生きと遊ぶ姿に変わってきました。ご家族の方々の表情も少しずつ変化していき、お迎えの際に保育者からお子さまの様子を聞き笑い合っている姿を見ると、ゆっくりとですが確実に保育園と家庭との距離が縮まってゆくを感じ嬉しく思います。どの子どもたちも一人ひとりが自分の居場所を見つけ、お友だちや保育者と安心して関わり、落ち着いて遊び込む姿が見られています。

先日、ひまわり組(3歳児)がお散歩に出かける際の出来事でした。少し不安そうな表情をしていた新入園のお友だちが靴を履き終わるのを側でじっと待っている子がいました。靴を履き終わると新入園の子の手を握りしめ『いっしょに行こう』と手をつないで仲良く園庭に出て行きました。そんなひとコマを見て、幼い心が大きく育っていることに気付き、とてもあたたかな気持ちになりました。子どもたちは様々な場面の中で心を通い合わせていくものなのです。

晴れた日が多かった5月、子どもたちはお散歩に出かけたり、朝から園庭で元気に遊ぶ姿がたくさん見られました。重たいプランターを動かして底に潜んでいる“だんご虫”を見つけたり、草むらを掻き分けて『このムシなんだろう』と小さな生き物に気付き、捕まえた虫をバケツに入れて葉っぱを与え『これたべるかな〜』と試行錯誤しながら世界を広げ遊ぶ子どもたちの目は、真剣そのものでした。自然の中で五感を使った遊びほど貴重なものはないですね。季節が巡る過程の中でたくさんの命に気付き、感じ、吸収し、豊かな経験を積み重ねていってほしいと願っています。

子どもたちと園庭のオリーブガーデンに野菜の種を植えました。恵みの雨にも助けをもらいながら、育つのを楽しみに待ちたいと思います。収穫のときの子どもたちのキラキラと輝く瞳を想像しながら。



お願い・お知らせ

- ☆ 5日は、花の日礼拝で石丸泰樹牧師先生がいらっしゃいます。本年度は石丸牧師先生が毎月の礼拝をしてくださっております。ゆり組も年度の後半で参加していく予定です。花の日礼拝後は、図書館、郵便局、都橋派出所、中越運送、セブンイレブン、東雲クリニックに全クラスの子どもたちがそれぞれの場所にお花を届けに行く予定です。
- ☆ 内科健診8日は、野末富男先生（野末小児科）に来ていただきます。
- ☆ 歯科検診13日は、藤関 雅子先生（藤関歯科医院）に来ていただきます。
- ☆ 幼児保育参観と個人面談について
ゆり 5月28日～6月8日、ひまわり6月11日～22日です。
夕涼み会 は7月27日（金）16:30～18:00



6月のスケジュール



日にち	曜日	行事
5日	火	花の日礼拝
6日	水	体操 4・5歳
7日	木	英語 2・3歳
8日	金	内科検診
12日	火	身体測定
13日	水	歯科健診
14日	木	英語 4・5歳
19日	火	バイオリンコンサート・誕生会
20日	水	体操 2・3歳
21日	木	英語 2・3歳
27日	水	避難訓練
28日	木	英語 4・5歳



今月の食育

とうもろこしの皮むき
絹さやのすじ取り
きゅうりを見るさわる
冬瓜をみる
ミニトマトのへた取り
各クラスが体験します

東京YMCAチャイルドケア全体研修についての報告

5月27日(日)に東京YMCAの保育事業に携わる職員の全体研修が行われました。春・秋と毎年2回開催される研修ですが、今年は東京YMCAが目指す保育を実践するための心得について学びを深めました。

スーパーアドバイザーをしていただいている新澤誠治先生からもあたたかな言葉をたくさんいただきました。YMCAに集う子どもたちが、今を生きる喜びを感じられる保育を実現するために、これからも研修での学びを大切にしていきたいと思えます。